



農業関係の世界遺産に関する評価基準の例

地区		提案国	評価基準 ii	評価基準 iii	評価基準 iv	評価基準 v	評価基準 vi
			ある期間を通じてまたはある文化圏において建築、技術、記念碑的芸術、都市計画、景観デザインの発展に関し、人類の価値の重要な交流を示すもの	現存するまたは消滅した文化的伝統または文明の、唯一のまたは少なくとも稀な証拠	人類の歴史上重要な時代を例証する建築様式、建築物群、技術の集積または景観の優れた例	特に不可逆的な変化の中で存続が危ぶまれている、ある文化(または複数の文化)を代表する伝統的集落または土地利用の際立った例	顕著で普遍的な意義を有する出来事、現存する伝統、思想、信仰または芸術的、文学的作品と、直接にまたは明白に関連するもの(この基準は他の基準と組み合わせて用いるのが望ましいと世界遺産委員会は考えている)
フィリピンのコルディアエラの棚田		フィリピン 1995年		フィリピンの棚田は、山頂からもたらされる水や石造りの棚田や池を用いた、集落による持続可能で原始的な米生産のためのしくみの、2000年にわたって残される劇的な物証である。	フィリピンの棚田は、1000以上の世代にわたる小規模な農業者が、地域社会の中でともに働き、自然の資源を繊細かつ持続可能な方法で利用し作り上げた景観であり、彼らの歴史と労働の記念碑である。	フィリピンの棚田は、人類と環境との調和のとれた相互作用による土地利用の顕著な例であり、偉大で美しく急峻な棚田は、現代の社会や経済の変化の中で脆弱なものとなっている。	
サン＝テミリオン直轄地区		フランス 1999年		サン＝テミリオン歴史的管轄区は現在に至るまで損なわれることなく存続する歴史的意義を持つブドウ園の景観の傑出した代表例である。	サン＝テミリオン歴史的管轄区は限定地域におけるワイン生産用のブドウの集中栽培とその景観を極めて優れた形で例証している。		
キューバ南東部のコーヒー農園発祥地の景観		キューバ 2000年		19～20世紀初頭の東キューバのコーヒー農園の形態が残っており、未開森林の開発を示す特徴的で確実な証拠を併せ持つ。これらは、世界の他の場所では既に確認できなくなっている資産である。	19～20世紀初頭の東キューバのコーヒー生産の特徴的な文化景観の創造と農業開発の進歩を覗うことのできる重要な歴史的な段階を残し証明している。		

<p>エーランド島南部の農業景観</p>		<p>スウェーデン 2000年</p>			<p>エーランド島南部の景観は長い文化史から現代の姿を形成してきた。厳しい地質や地形の中で順応して人間が作り上げた景観である。</p>	<p>エーランド島は、一つの島における人間の定住スタイル、多様化した景観スタイルが適切に持続されてきた顕著な事例である。</p>	
<p>アルト・ドウロ・ワイン生産地域</p>		<p>ポルトガル 2001年</p>		<p>アルト・ドウロ地域はおよそ2000年間ワインを生産し続け、その景観は人間の活動により形成されてきた。</p>	<p>アルト・ドウロの文化的景観は、ワイン生産、ブドウ棚、ワイン生産農場の複合体、農村、教会チャペル、道路で構成される。</p>	<p>アルトドウロの文化的景観は、時の流れでの人間活動の発展を反映した伝統的ヨーロッパのワイン産地の顕著な事例である。</p>	
<p>トカイ地方のワイン産地の文化的景観</p>		<p>ハンガリー 2002年</p>		<p>トカイワイン地区が少なくとも1000年間存在し、完全な状態で存続し、他に例のないブドウ栽培の伝統を現在に残している。</p>		<p>ブドウ園と長く続いた居住地域の両方を含むトカイワイン地区の全体の風景は生き生きとしている。それが表す伝統的な土地利用の特殊な形が例証されている。</p>	
<p>ピコ島のブドウ園文化の景観</p>		<p>ポルトガル 2004年</p>		<p>ピコ島の風景は、小さい火山島でのブドウ園と15世紀の最初の定住以来発展しているブドウ栽培が育ててきたもの。小規模で石垣で囲まれた美しい人間の作り上げた風景は、厳しい環境の中で農業を継続してきた何世代も続く小規模農家の営みの証明である。 (評価 iii、v 同じ理由)</p>		<p>ピコ島の風景は、小さい火山島でのブドウ園と15世紀の最初の定住以来発展しているブドウ栽培が育ててきたもの。小規模で石垣で囲まれた美しい人間の作り上げた風景は、厳しい環境の中で農業を継続してきた何世代も続く小規模農家の営みの証明である。 (評価 iii、v 同じ理由)</p>	

<p>リュウゼツランの文化的景観と旧テキーラ生産施設</p>		<p>メキシコ 2006年</p>	<p>竜舌蘭の栽培と蒸留は大農場と蒸留所で形成される特有の景観を作り上げてきた。ヨーロッパの蒸留方法で作るブレビスパニック文化のメスカル酒と、ヨーロッパやアメリカから輸入された技術と現地の技術が融合された蒸留法が作り上げた景観である。</p>		<p>大農場と蒸留所の多くは250年を超える蒸留所の発展を反映しており、それらは、文化と技術が融合した特徴的な建築物の複合体であり、顕著な例である。</p>	<p>当地の景観は、古代メソアメリカの竜舌蘭文化と現代の同文化の間に関連を示す例証である。大農場と蒸留所が形成され、最初のテキーラの生産がスタートした17世紀以来の経過を見ることができる。農地、蒸留所、大農場、町並みの総合的な景観は、テキーラという特殊な文化が発展をもたらした代表的文化であり、伝統的な人間定住と土地利用に関する顕著な例である。</p>	<p>テキーラ景観は文学作品、映画、音楽、芸術、ダンスをもたらした。テキーラはメキシコ人とその心の故郷であるハリスコ州を繋ぐものとして位置づけられている。テキーラの景観は境界を超えた壮大な文化的な意味を持つことが認められる。</p>
<p>コロンビアのコーヒーの文化的景観</p>		<p>コロンビア 2011年</p>				<p>コロンビアのコーヒーの文化的景観は、数世代にわたる集団的な努力を通じて、特別な社会的、文化的かつ生産的な制度を作り上げるとともに、厳しい地形条件下における天然資源の管理の中で革新的な慣習を作り上げた、100年にわたる文化的、持続可能かつ生産的な景観の顕著な事例である。</p>	<p>コロンビアのコーヒーの文化は、音楽、料理、建築や教育のみならず、世代を通じて受け継がれている独特の豊かな遺産を生み出している。</p>